

『 評 価 書 』

福島県立富岡高等学校

平成29年3月 学校評議員による評価

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>I 学校における自己評価活動の取組み</p> <p>I. 1 『学校経営・運営ビジョン』と校内組織体制について</p> <p>・国際・スポーツ科の特徴を踏まえて適切に設定され、評価活動は問題なく推進されている。          ・各コースの特徴を活かし、それぞれ大きな成果を上げており、保護者や地域住民に浸透している。          ・適切なビジョンと教職員に対しての評価計画、評価活動等が積極的に推進されている。</p> <p>I. 2 『学校経営・運営ビジョン』の展開と自己評価について</p> <p>・4つの重点目標に基づく学校の改善に向け、概ね良好に活動が展開されている。自己評価については、生徒と教職員の評価の違いについて分析する必要がある。          ・少人数の集団ではあるが集いなどの特別活動の中で社会性を養う指導がなされている。          ・生徒の一体感や帰属意識の醸成について一定の成果が認められる。</p> <p>I. 3 広報とアンケート等について</p> <p>・生徒・保護者への広報は HP、PTA 会報により適切に行われている。地域への広報等は、バドミントン部やサッカー部の成果などマスコミの報道を通して有効に周知された。また、PTA 会報や後援会会報も発刊され充実した広報活動が展開された。          ・休校中の各種証明書の発行や問い合わせの窓口について周知の手立てを取ってほしい。</p> <p>I. 4 取組み状況全体について</p> <p>・生徒の進路実現に向け、コースごとの専門的な指導ができるよう教職員の研修に努めていただいた。          ・保護者との連携が難しい状況にあったが、折に触れ連絡と報告をすることに努め、生徒や保護者の満足度も高かった。</p>	<p>・各部の評価をもとに「ビジョン」達成のために、各部の連携を深めて課題解決に取り組んでいく。</p> <p>・評価の違いについての分析を行うことにより、学校改善に向けた取り組みをした。          ・「富高の集い」等の活動を通して、一体感が高められるようなプログラムを検討した。</p> <p>・HP については休校中もそのまま残す、事務手続きについてはふたば未来学園高等学校になることを周知したい。</p> <p>・最新の指導法を導入し、生徒の興味・関心を高めるよう努めた。          ・評価項目の見直しをし、実態把握に努め、課題解決を図るようにした。</p>
<p>II 自己評価活動と学校評価全体への学校の組織的な取組みとその改善</p> <p>・努力の成果が現れている。バドミントン部の国体優勝や全国高校総体優勝などは、生徒全体の誇りと自信を持たせることにつながった。          ・課外や小論文指導など指導担当職員を設定し、早期の取り組みや組織的に進めていくことができた。</p> <p>III その他</p> <p>・地域との連携のために学校と常に共有できる様に学校評議員としても努力をした。          ・富岡高校の伝統がふたば未来学園高校に引き継がれるよう期待している。(バドミントン、女子サッカー)</p>	<p>・学校評価が効果的なものになるよう校内の評価体制を整えた。          ・進路指導部、3年次として組織的に進めた成果が出た。</p> <p>・地域のニーズに対応し地域社会や保護者との連携を密にして活躍して行ってくれることに期待している。</p>